

LIVING Modernity

リビング・モダニティ

Experiments in the Exceptional and Everyday 1920s–1970s

住まいの実験 1920s–1970s

記念講演会

リビング・モダニティ： 過去から現在、そして未来へ

2025.9.20 Sat. 14:00–15:30 開場 13:30–



1



2



3

20 世紀に始まった住宅をめぐる革新的な試みを、衛生、素材、窓、キッチン、調度、メディア、ランドスケープという、モダン・ハウスを特徴づける7つの観点から再考する「リビング・モダニティ 住まいの実験 1920s–1970s」展。展覧会の開幕を記念して、本展のゲスト・キュレーターを務めたケン・タダシ・オオシマ氏による講演会「リビング・モダニティ—過去・現在・未来」を開催します。

出演 **ケン・タダシ・オオシマ**
(ワシントン大学教授／本展ゲスト・キュレーター)

会場 **兵庫県立美術館
KOBELCO ミュージアムホール**

定員 **150名** ※先着順

聴講無料 ※要展覧会チケット | 英⇄日 逐次通訳付き

ケン・タダシ・オオシマ (ワシントン大学教授／本展ゲスト・キュレーター)

ワシントン大学建築学部教授。建築史、建築理論、デザインを担当。ハーバード大学デザイン大学院、カリフォルニア大学ロサンゼルス校客員教授。コロンビア大学で建築史と建築理論で博士号取得。建築史学会会員（2016–18 に会長を務める）。企画した主な展覧会として「フランク・ロイド・ライト 世界を結ぶ建築」展（2023–24、豊田市美術館、パナソニック汐留美術館、青森県立美術館）。著書に『Kiyonori Kikutake Between Land and Sea』（2015）、『Global Ends Towards the Beginning』（2012）、『International Architecture in Interwar Japan: Constructing Kokusai Kenchiku』（2009）、『Arata Isozaki』（2009）など。『Architectural Review』、『Architectural Theory Review』、『Journal of the Society of Architectural Historians』、『建築文化』、『Japan Architect』など国内外の雑誌に寄稿。

1 藤井厚二 聴竹居 1928年 撮影：古川泰造

2 フランク・ゲーリー フランク & ベルタ・ゲーリー邸 1978年

Frank Gehry, Frank & Berta Gehry House, 1978

© Frank O. Gehry, Getty Research Institute, Los Angeles (2017.M.66)

3 リナ・ボ・バルディ カサ・デ・ヴィドロ 1951年



兵庫県立美術館
HYOGO PREFECTURAL MUSEUM OF ART